

認知症に関する活動計画（概要）

（一社）岡山県作業療法士会では、現在認知症支援委員会として13名で活動している。

【事業目的】

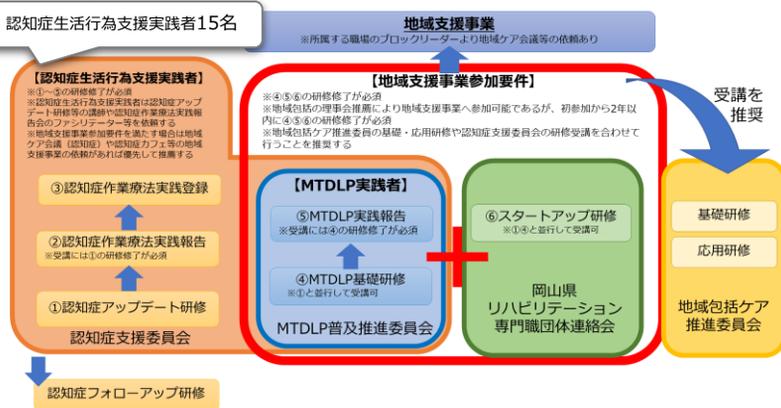
認知症の人が尊厳と希望を持って認知症とともに生きることや認知症になっても進行を緩やかにすることに資する作業療法士を育成し、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる社会の実現に向けた地域貢献活動や調査・研究を実施する。

【活動内容】

1. 認知症アップデート研修の開催
 2. 認知症作業療法実践事例報告会の開催
 3. 認知症作業療法フォローアップ研修の開催
 4. 認知症作業療法のエビデンス構築のための実践事例の集積
 5. 行政、関連団体に対する認知症作業療法の広報活動と連携
 6. 会員による認知症関連活動に関する調査
 7. 認知症生活行為支援実践者の地域支援事業への参画状況を把握
 8. その他
- 以上の活動を進めている。

人材育成事業

認知症生活行為支援実践者及び地域支援事業参加要件 養成研修図



地域支援事業へ参画できる人材育成のため、今まで当士会が進めてきた**認知症生活行為支援実践者研修**に加え、新たに**認知症作業療法フォローアップ研修**を開催する予定である。また、MTDLP普及推進委員会、地域包括ケア推進委員会と協力して研修会を企画し、地域支援事業を実践レベルで行える作業療法士を育成していく。

関連団体との連携

昨年度は新型コロナウイルスの影響で関連団体との連携が図れないことが多かったが、zoomを用いて認知症の事例について多職種と一緒に考える研修会へ参加した。今年度は「**おかやま若年性認知症支援センター**」と連携し、活動への参加や活動の企画提案していく。

調査事業

昨年度、県士会員を対象に認知症支援の現状調査のアンケートを実施し、332名の回答を得た。認知症支援に関する地域活動への参加については、「**参加している**」「**参加したことがある**」と回答した会員は**86名（26%）**であった。今後、地域で活動している県士会員の更なる発掘と情報共有を行い、行政や関連団体とも連携し、認知症に関わる専門職としてアピールしていく。

COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

今年度の研修（認知症作業療法アップデート研修2回、GP報告会1回、認知症作業療法フォローアップ研修1回）は全てzoomを用いたオンライン研修を予定している。

